



利根山光人

Toneyama Kojin

第131号 2026年9月1日

記念美術館通信

Memorial Art Museum News Letter

〒024-0043 岩手県北上市立花15-153-2

TEL/FAX 0197-65-1808



《ひるやすみ》F50 油彩

を描くことは生きることと同じで、故郷の農村における幼少期の原体験や、若くして上京してからの過酷な労働体験は、常に切実な思いを伴って絵画制作に直結しています。

大画面に多様な素材のコラージュ(貼り付け)などを施して構成された《黒い大地》シリーズに見られるように、世界の現代史をリアルに体感し、敏感に反応してきたことの証(あかし)としての絵画は、観る人に強い印象を刻みます。そうしたエネルギーな制作活動を総括的に鑑賞し、画家の闘いの痕跡をじっくり味わいたいものです。

一方で、愛犬の死が一旦休業した創作活動を再開するきっかけとなったエピソードからも分かるように、生命や自然に向ける慈しみの心が金澤氏の画業における核となっており、心象風景とも言える穏やかな風景や人物、動物の描写を形作っています。何を描いても重厚で緻密な表現は他の追随を許さないものがあります。金澤氏の画業の奥深さや幅の広さを美術館でぜひ体感してください。

開館30周年記念 令和8年度後期企画展

地の中の挑戦者 金澤隆二展

2026.9.19[SAT] - 11.29[SUN]

「美しいだけがARTではない」と作家は語ります。戦争や環境破壊、温暖化など、現代社会への問題意識から生まれるメッセージ性の強い作風は、強いインパクトを持って多くの人を強く惹きつけます。

画家金澤隆二氏は岩手県出身で、15歳で上京して以来、工場勤務の傍ら独学で絵を学び制作を続けてきました。自ら劣等感の塊と称し、反骨精神を制作のエネルギーとして描き続けてきたそうです。金澤氏にとって絵



《アマビコ》F30 油彩

Kanazawa Ryuji

金澤隆二

1957年岩手県岩泉町生まれ 茨城県在住

利根山光人記念大賞展 部門賞(2004) / 岩手県芸術祭洋画部門 芸術祭賞(2025) 他受賞多数 個展開催多数

作家の言葉

専門的な美術教育を受けておらず、子どものお絵かきの延長線上に私はいる。画材は麻布、絵の具のほかにドリルやナイフ、針と紐、金属、石膏、動物の骨などなんでも使う。49年前に東北から上京し、16歳から工場で働き始めた。生きる理由が欲しくて入門書を買ひ、強い劣等感から独学で絵を描き始めた。皆と同じようになりたくて絵を描いてきたが、後追いつきばかりしている自分に気がつきやめた。もっと自由で自分だけの絵画があるはずだと考えた。帰省した時、農業で使う汚れた麻布に穴があき、それを母が大事そうに縫っていた。「この上に絵を描きたい」と思い、また工場で長年職人として働いてきた勘や知識、技能も作品に活かすようになった。

2023.9.1 新美術新聞「野良犬の牙」より抜粋

◆◆ 企画展関連イベント ◆◆

作家と語る

「創作のモチベーションと絵画技法」

11/3 (火・祝) 文化の日

10:30~11:30 @美術館展示室

ミクストメディアとは、描写だけではなく、貼り付けなども含む複数の素材技法のことです。これを駆使する金澤さんの絵画技法を学ぶ対話型のトークイベントを行います。労働と絵画制作との両立や制作に対する思いなどにも迫りたいと考えます。ぜひご来館ください。



中期企画展「利根山光人 日本のまつりと民話」9月13日(日)まで

小規模作品中心ですが、対象を一瞬で切り取る観察力や単純化する構構力などが明確に伝わり、国内の民俗芸能への熱い想いを改めて感じ取ることができます。特に民話シリーズでは、今回特別にストーリーの解説を添付しました。物語が分かると画伯の“ユーモアのセンス”“絵づくりの妙(みょう)”を感じ取ることができるはずです。ぜひ、親子で観覧していただきたいです。



開館30周年を迎えた利根山光人記念美術館では、アートを普及する場としての役割をさらに広げ、より身近な美術館を目指して、地域を巡るワークショップ「とねやまアートキャラバン」を市内4か所で開催しました。画家・利根山光人の業績や美術館開館までの歩みを学び、作品を鑑賞してから、ワークショップ「みんなでつくろう！カラフルとねやま」を行いました。子どもから大人まで、創造性豊かなカラフルな作品が完成しました。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！



地域を巡る体験型アートプロジェクト とねやまアートキャラバン

◆◆ 今後の30周年記念イベント ◆◆

ー 巨大アート制作 ー みんなでつくろう！ TONEのやま

日時：12/11（金）13：00～15：00

12/12（土）10：00～12：00

@hoKkoふれあいホール ※参加無料

内容：とねやまアートキャラバンでつくった「カラフルとねやま」をひとつの大きなアート作品にします。インスタレーション（空間をつかった作品）の制作に参加してみませんか？どなたでもお気軽にお越しください！

ー トークセッション ー 利根山光人と北上

日時：12/12（土）14：00～16：00

@hoKkoふれあいホール ※入場無料

内容：利根山光人と北上の関わりについて
深掘りするトークイベント

話者：一般社団法人アルテトネヤマ
立花雅子氏（利根山光人御息女）
尾崎春香氏（利根山光人御令孫）
北上市
高橋喜一郎氏
八重樫信治氏

※記念イベントはライズみちのく販売株式会社様・株式会社中国銀行東尾道支店様からの寄附を原資に行っています。

美術館まつりで「昔ばなしの読み聞かせ会」開催

無料

9/12（土）①11:00～
②12:30～

対象 未就学児～小学生

「むか～し、むかし・・・」からはじまるわくわくドキドキの昔ばなしを、利根山光人の民話シリーズと一緒に楽しみください。

※予約不要 当日美術館にお越しください。